



若者情報部 キラリ (over)

ヤマト運輸秋田横手コールセンターは、宅急便などの宅配サービスに関する集荷・再配達・問い合わせの電話対応を行っています。全国12カ所に配置されている拠点コールセンターのうち、東北唯一の拠点として電話全体の8割を東京23区から受信。各地のコールセンターをバックアップし、自然災害発生時などには全国からの電話に対応しています。センター長の小川さんは「今年は創業100周年の大きな節目となります。宅急便は、生活の中でインフラの一部として活用されていますので、さらに地域の皆さまに貢献できる会社として成長していきたいです」と話してくれました。

センター長さんのひとこと

社員のほぼ全員が女性ですので、安心して家庭と仕事の両立ができる職場づくりに取り組んでいます。コールセンター業務は、明るく元気に発声できれば何歳まででも続けられる仕事ですので、ぜひチャレンジしていただきたいです。



センター長 小川 順一さん

センパイのひとこと

お客様の顔が直接見えない中での対応は難しいこともありますが、リーダーや先輩のサポートが受けられ心強いです。私は小さい子どもがいますが、社員は子育て経験者が多く、勤務時間や休みが家庭状況に合わせやすい職場なので、とても働きやすいです。



阿部 美鶴さん (入社4年目)



- 所在地 横手市八幡字八幡145-1
- 創業 大正9年11月 (平成19年11月秋田横手コールセンター開設)
- 従業員 94人(平成21年1月現在)
- 電話 0182-33-7045



若者情報部 キラリ (over)

関坂製作所は、金属部品を機械加工で生産する企業です。印刷機械をはじめ、自動車や食品製造設備などに使用される部品を、主に地元企業から受注。円柱状の材料を切削加工する「丸物部品」を得意とし、現在の主流であるコンピュータ制御の加工機械だけでは作ることが難しい、手作業を要する部品など、高い技術力で少量多品種生産に対応しています。代表取締役社長の関坂さんは「注文は、めったに断りません。いつもチャレンジ精神を持って取り組んでいます。ものづくりの魅力を感じられる会社にするため、技術を継承していきたいです」と話してくれました。

社長さんのひとこと

ものづくりは、一生勉強だと思っています。繰り返し注文を頂く部品に対して、も常に創意工夫を重ね、品質と生産効率の向上を目指しています。経験がなくても、前向きに取り組む方に、ものづくりの仕事の楽しさを伝えたいですね。



代表取締役社長 関坂 五郎さん

センパイのひとこと

長年の経験と技術を持った社長と一緒に仕事をする中で、日々多くのことを学んでいます。新しいことにチャレンジでき、難しい注文にうまく応えられたときは、特にやりがいを感じます。地元でも、ものづくりの高い技術を学ぶことができると思います。



関坂 浩輝さん (入社4年目)



- 所在地 横手市平瀬町藤崎字本堂22-2
- 創業 平成元年4月
- 従業員 3人(平成21年2月現在)
- 電話 0182-58-0386



若者情報部 キラリ (キラリ)

フジノボールチェン(株)は、浴槽や洗面台などの水栓用をはじめ、工業用や内装用、装飾アクセサリ用などのボールチェンを製造する企業です。ステンレスや真ちゅうを素材とし、ボールの直径は0.8^{mm}から12^{mm}。形の美しさや強度の高さ、そして柔軟性がある高品質なボールチェンは、複数の大手住宅設備機器メーカーの製品として使用されるなど、高いシェアを誇っています。取締役の鈴木さんは「当社は、国内で最初にボールチェンを製造し、これまで開発を続けてきました。日本一のボールチェン専門メーカーとして、創業100周年を目指します」と話してくれました。

取締役さんのひとこと

当社は、社員をととても大切にしています。子育て中の社員が多く活躍し、土日祝日が完全休業で勤務時間も柔軟に対応するなど、家庭と仕事の両立ができるよう環境を整えています。伸び盛りで将来性のある会社で仕事をしてみませんか。



センパイのひとこと

日常生活で目しているボールチェンが地元の企業で作られ、お風呂の栓などさまざまな用途に使われていることに最初は驚きました。初めての作業も優しく教えてもらうことができ、子育てをしながらでもとても働きやすい、やりがいのある職場です。



渡部 優加さん(左) (入社4年目)
藤原 誠子さん(右) (入社3年目)



●所在地 横手市十文字町仁井田字八森101-2
●創 業 昭和22年9月(昭和42年8月秋田工場移転)
●従業員 17人(平成31年3月現在)
●電 話 0182-42-2847
●H P <http://www.fujinoba.co.jp>



若者情報部 キラリ (キラリ)

三共光学工業(株)は、一眼カメラなどの映像用レンズや、半導体製造に使われる産業機器用レンズを製造する企業です。大量生産の製品作りではなく、「大きい・小さい・面倒臭い」を迅速に!」を会社の合言葉として、扱いが難しく機械任せにはできないガラス素材の製品や、特殊な1点物の産業用光学レンズなど、他ではできない物作りに注力しています。専務取締役の萩原さんは「人の手による、丁寧で細やかな気配り・心配りが求められる加工を極めたい。間違いのない品質の製品を提供できるよう、高度化する仕事に、技術と機械設備で応えていきたい」と話してくれました。

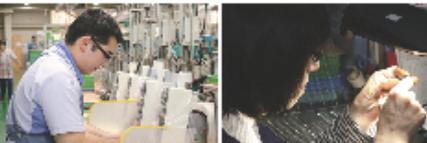
専務取締役さんのひとこと

私たちが手掛ける光学レンズは、カメラだけでなく、さまざまな場面で使用されています。社員の誰もが未経験で、入社してからレンズや仕事を学びました。先輩方に教わりながら、世界中で使われるレンズを、秋田で一緒に作りましょう!



センパイのひとこと

高校1年の時に会社見学でこの会社を訪問しました。地元の人が多く働いていて、面倒臭いのが良い方ばかりなので、仕事で不安なことなど何でも先輩に聞くことができます。自分で理解したつもりで「知ったかぶり」することなく、安心して仕事できています。



●所在地 横手市大森町板井田字下田9-4
●創 業 昭和4年6月(昭和59年大森工場移転)
●従業員 148人(平成31年4月現在)
●電 話 0182-26-4171
●H P <http://www.sankyoku-kogaku.co.jp>



若者情報部 キラリ (キラリ)

㈱十文字サントップは、紳士スーツのスラックスや婦人服のボトムスの委託加工業をしている会社で、50社を超える国内・海外のアパレルメーカーから委託を受けています。取引相手からの発注内容を、作業工程の中で自社の方式に落とし込むなど、手間を惜しまない作業による品質と納期により、高い信用と信頼を得ています。専務取締役の樋渡さんは「お客様に喜んでいただける製品づくりが、夢であり目標。こちらから営業に動かなくても取引先から指名され、仕事がいっぱいになるような会社を作っていきたい」と話してくれました。

専務取締役さんのひとこと

社員とそこご家族をはじめ、私たちを取り巻く皆さまのおかげで現在の当社があります。これからも皆さまの力を借りながら、企業力向上に努めていきます。一緒にファッション業界のトレンドな物づくりに参加してみませんか。



専務取締役 樋渡 誠さん

センパイのひとこと

お店の洋服がどんな行程でできているのか、ミシン針が厳しく管理されていることなどを入社して初めて知りました。女性が多く、急なお休みにも対応してくれて助かっています。製品が反物から裁断、縫製、仕上げを経て出荷される喜びが味わえる職場です。



次藤 真帆さん(左) (入社3年目)
近野 悠希奈さん(右) (入社1年目)



- 所在地 横浜市十文字町上編倉 字西の田野20-1
- 創 業 昭和38年7月
- 従業員 32人(令和元年5月現在)
- 電 話 0182-42-0551



若者情報部 キラリ (キラリ)

㈱マルシメは、県内にショッピングセンターを3店舗経営するほか、高齢者向けの配食や日常の困りごと相談事業などを行っています。十文字地域に構えるスーパーモールラッキー内のファーマーズマーケットには、地元農家を中心に300人以上が登録するなど、地域に密着した事業を展開。代表取締役社長の遠藤さんは「買い物だけでなく、地域のニーズに何でも応えられる『地域の窓口』になれるよう心掛けています。将来は横手市の物を販売できる場を増やし、会社のみならず地域の利益を生み出すことができる、地元をけん引するような会社を目指したいですね」と話してくれました。

社長さんのひとこと

私たちの会社は地元とのつながりが強く、地域に支えられて成り立っています。大変なこともあります。世の中にはまだまだ夢や希望はあふれています。明るく元気に前向きに、未来の横手市をみんなで一緒に作っていきましょう。



代表取締役社長 遠藤 宗一郎さん

センパイのひとこと

小学生のとき、レジを打つ人がカッコいいと思ったのが、この仕事に就くきっかけでした。毎日来てくれる地元の方もいて、「ありがとう」と声をかけてくれるのがうれしく、励みになります。明るく元気な、自分の持ち味を生かせる職場です。



藤原 ルイナさん (入社2年目)



- 所在地 横浜市十文字町 七井田字第22-1
- 創 業 昭和38年7月
- 従業員 206人(令和元年5月現在)
- 電 話 0182-42-2113



(株)デジタル・ウント・メアは、コンピューターのソフトウェアやアプリケーションの設計・開発、ネットワークやウェブサイトの構築などを行う会社です。多岐に渡るIT関連の業務を行うほか、最新技術とITへの理解を深めるセミナーを開催し、地域の人材を育てる活動も行っています。代表取締役社長の岩根さんは「これからはAI(人工知能)を使いこなしていく時代になります。そのような最新技術を導入しながらも、ITを扱い慣れていない方にも優しい、地域の皆さんに使ってもらえるシステムを開発・構築していきたいです」と話してくれました。

社長さんのひとこと

10年後の社会では、今現在には無い仕事が、たくさんできていると思います。データ処理などでは人間はAIに勝てませんが、どうすれば自分の優れた部分やスキルを生かせるかを考えて、一緒に未来をつくる楽しい仕事をしましょう。



代表取締役社長
岩根 えり子さん

センパイのひとこと

仕事は受け身になるのではなく、自分から取りに行くことが大事だと感じています。会社の雰囲気良く、新人の私たちも積極的に意見を出すことができ、それにきちんとアドバイスしてくれます。早く会社を引っ張っていける人材になれるよう頑張ります。



新山 広夢さん(左)
(入社1年目)
小野垣 和弥さん(右)
(入社1年目)



- 所在地 横浜市赤坂字館ノ下80-1
ベッチモントyokote2階
- 創業 平成11年8月
- 従業員 16人(令和元年6月現在)
- 電話 0182-33-5060

今回の地元のキラリ企業は「特別編」。愛知県稲沢市にあるイイダ産業(株)にお伺いして、代表取締役社長の飯田さん、横手で操業するオロテックス秋田㈱開設準備室室長の服部さんにインタビューしました。

同社は、7月に秋田県と横手市との立地協定を締結しました。今後は横手第二工業団地に子会社となるオロテックス秋田㈱を建設し、令和2年7月の操業を目指して準備を進めています。

特別編
地元のキラリ企業
オロテックス秋田(株)



熱田神宮

イイダ産業(株)グループは、自動車用防音材・制振材を中心に、国内4工場と海外5カ国で製品の開発・設計・製造・販売を行っています。トヨタ自動車㈱をはじめとする国内の全自動車メーカーおよび海外主要メーカーと取引を行っていることや、自社で製品の開発を行っていることから、時代の流れに敏感に反応し、顧客のニーズに迅速に応えられるという強みを持っている企業です。特に自動車用ピラー内防音材において、国内トップシェアを誇っています。



発泡前 発泡後
自動車ピラーに使用されている防音材
(自動車焼付け工程の熱を利用し発泡)

近年弊社ではトヨタ自動車東日本㈱や㈱スバルへの納入量が増えており、本社工場の生産能力では賅いきれなくなってきたため、東北地方への進出を検討していました。横手に決めた理由としては、同じ愛知県から3年前に立地した大橋鉄工㈱さんの存在も大きいですが、地域や行政の支援が手厚いことが挙げられます。秋田では地元の人から地域を盛り上げようとしているのが伝わり、地元愛の強さを感じます。横手に立地するオロテックス秋田㈱では、その地元からの声に応えていきたいですし、それができる地域だと思います。



代表取締役社長
飯田 耕介さん

私たちは、地域から「あそこは良い会社だね」と認められる会社でありたいと考えています。オロテックス秋田㈱では、将来的には新製品の開発も視野に入れ、世界に向けて「秋田ブランド」を発信していきたいと思っています。地元の人たちと一緒に、しっかりと会社運営ができるよう盛り立てながら、会社のみならず働いている従業員が地域に認められ誇りに思える、そんな会社を本社も一体となりチームワークで作ってまいります。



オロテックス秋田㈱
開設準備室 室長
服部 裕詞さん

仕事に対する姿勢で、社長がよく「愚直」という言葉を口にします。人には楽をしたいと思う部分がありますが、そこで手を抜くのではなく、妥協せず物事を進めるというものです。苦の部分は改善してなくしていきましょう。オロテックス秋田㈱でも「愚直」の気持ちを大切に、秋田の皆さん、横手の皆さんと共に、本社に負けない良い職場を作りたいと思います。一緒にオロテックス秋田㈱で働いてみませんか。



■所在地 愛知県稲沢市目比町一丁目770-1
■創業 昭和29年3月
■従業員 340人(令和元年7月現在)



若者情報部
キラリ
(☆☆☆)

林泉堂(株)は、生ラーメンから乾麺まで幅広く製造する、製麺事業を中心とする会社です。その製品は、ベルギーの食品コンテストにおけるラーメン初の三ツ星受賞をはじめ、さまざまなコンテストで高く評価されています。また、イスラム教の「ハラール」に対応したラーメンを日本で初めて開発するなど、常に新分野の開拓に挑戦しています。代表取締役の林さんは「近年は通販サイトのラーメンカテゴリで日本一になるなど、ウェブでの情報発信に力を入れています。横手から県内にとどまらず、首都圏や世界に秋田のおいしいものを発信していきたいです」と話してくれました。

代表取締役さんのひとこと

横手は都会と比べ、できることが限られていると若い人は感じるかもしれませんが、私たちは地元の良いところを見つけて情報発信しています。ぜひ秋田の良さを発信する方法を勉強していただいて、一緒に働くことができたらいいですね。



センパイのひとこと

ラーメンが好きでこの会社を選びましたが、好きなことに仕事に関わることができるというのは、進路を選ぶ上で大事なことだと思います。入社してまだ日が浅いですが、長年いるように感じるほど、みんな親身に力になってくれる会社です。



佐藤 杏奈さん(左)
(入社2年目)
前田 純さん(右)
(入社1年目)



- 所在地 横手市十文字町仁井田 字八萩101
- 創業 昭和22年8月
- 従業員 50人(令和元年9月現在)
- 電話 0182-42-5500



若者情報部
キラリ
(☆☆☆)

(株)BaseLineは、市内に飲食店を経営するほか、近年では人と提携した商品開発なども行っています。また、市の委託を受けた婚活事業を手掛ける以外にも、イベントの参加には気後れする人を対象とした小規模な出会いの場の提供も行っています。代表取締役の古屋さんは「今の会社は、従業員が『こんなお店にしたい』と思うものを形にできてきたものです。私の仕事は、従業員に『ここにいていいんだ』という安心感を与えること。そのための支援はできる限りのことをしますし、会社はスタッフみんなの自己実現が叶えられる環境にしたいと考えています」と話してくれました。

代表取締役さんのひとこと

今の時代は、秋田にいても都心と戦える環境があります。秋田でもいろいろなことが発信できるということを念頭に置いて、一度外に出て学ぶのも良いと思います。流されるのではなく、なりたい自分をしっかりデザインすることが大切です。



センパイのひとこと

入社前には飲食関係ではない仕事をしていましたが、昔から料理が好きで、料理を仕事にしたいと入社しました。前の仕事でも良い経験が積むことができたと思いますし、回り道をして選いということはないので、自分のやりたいことを見つけてください。



柴田 尚武さん(左)
(入社3年目)
佐々木 涼子さん(右)
(入社1年目)



- 所在地 横手市舞気大塚字田久保下204-1
- 創業 平成23年9月
- 従業員 18人(令和元年10月現在)
- 電話 0182-35-5539



若者情報部 キラリ (☆☆☆)

秋田化学工業(株)は、金属製品全般にメッキや研磨、塗装などの表面処理を行う会社です。にかほ市に本社を構え、今年5月に横手第二工業団地に新工場を設立。代表取締役の丹野さんは「私たちは極力仕事を断りません。他社では断られるようなものでも処理できる技術力を自負していますし、弊社のように1億を超える大型製品の処理ができる会社は、多くはありません。半導体部品を主力としていますが、今後は自動車部品の分野にも注力していきたいと考えています。横手には自動車関連会社が集まっていますので、他社と連携して地元を盛り上げたいですね」と話してくれました。

代表取締役さんのひとこと

私たちの製品は普段の生活で目に付くものではありませんが、スマホやパソコンなどの部品として重要な役割を担っています。いつも同じことをする仕事ではないので、チャレンジ精神を持った人材と一緒に働きたいですね。



代表取締役 丹野 恭行さん

センパイのひとこと

この会社に入るまで製造業は未経験だったため、働く前は不安がありました。先輩方に丁寧に指導していただき、楽しく仕事をすることができています。知らない分野だと諦めず、興味のあることに挑戦してみても良かったと思います。



熊谷 有平さん (入社1年目)



●所在地 横手市堀田12-3
●創業 昭和47年2月
●従業員 78人(令和元年11月現在)
●電話 0182-23-7660



若者情報部 キラリ (☆☆☆)

(株)ホーネンは、農作物の生育で重要な水の量を調節するかんがい設備の中で、水門の役割をする「水閘」を専門とする会社です。品質の高いものづくりのみならず、時代に合わせた製品開発で、農業者に負担が少なく安全な製品で特許を取得し、水閘設備で全国トップのシェアを誇ります。代表取締役の黒丸さんは、「新社屋に移転したのは、農地を目の前にして製品開発をしたかったからです。私たちの製品は農業にとって重要な設備です。農家の生産効率が上がるものを作るだけでなく、今後の農業がどうあるべきかまで考える会社でありたいですね」と話してくれました。

代表取締役さんのひとこと

私たちの会社では、横手の主要産業である農業、さらには「食」に関わる仕事をしています。その重要性を認識して、これから農業が発展していくために私たちは何をすればいいかを考えられる人と、ぜひ一緒に仕事がしたいですね。



代表取締役 黒丸 雄平さん

センパイのひとこと

地元で働きたいということ、大学で経営を学んだことが生かせるため、この会社を選びました。毎日初めての連続で、上司や先輩から学ぶことばかりです。これから社会に出る人は、自分自身が入る会社ですので、じっくり考え結論を出すと良いと思います。



伊勢谷 友太さん (入社1年目)



●所在地 横手市赤坂字上青連尊209-1
●創業 昭和9年7月
●従業員 15人(令和元年12月現在)
●電話 0182-32-9091